

大学院生・ポスドクを中心とした
第32回コンソーシアム人材セミナー in 広島

「製造業における研究開発と それに求められる才能・技能とは？」

平成28年 **12月8日(木)**

- ・セミナー 14:30~16:30
(質疑応答含む)
- ・会場 東広島キャンパス
工学部113講義室(B4棟)



講師：富山 秀樹 氏

(株)日本製鋼所 広島研究所・主幹研究員)

・本セミナーは5研究科共同セミナー
1回分の単位となります。

【申込方法】

1.第32回・2.名前・3.所属・4.学年(職名)を明記して、
「wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp」まで、Eメールにてご連絡ください。

※ 申込締切：12月6日(火)

【申込み・問い合わせ先】

広島大学グローバルキャリアデザインセンター(担当 都留・東)

E-mail : wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp TEL : 082-424-4564

URL : <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

* 講演概要 *

日本製鋼所は国内で最大の市場シェアを持つプラスチックの成形加工機械メーカーで、世界各国へも輸出・販売をしています。

軽量化や機能化を目的に、自動車やモバイル機器をはじめとする身の回りのプラスチック化が著しい中、これら機器部品を製造する機械も解析技術等を駆使しながら高度な開発・設計が必要になっています。講師は研究所に所属し解析技術を主体とした製品開発を行っています。その業務スタンスは、入社当時では大学で培った専門性を活かして研究開発をしていたものの、年を経る毎に自身の成長とともに徐々に変遷しています。

今回は、このような自分の経験談も交え、聴講する学生の将来進路を考える上でひとつの参考となるようなお話をしようと考えています。

* 講師プロフィール *

【学歴】

1997年 3月 九州工業大学 博士前期課程 修了

2000年 3月 九州工業大学 博士後期課程 単位取得退学

【職歴】

2000年 4月 (株)日本製鋼所 入社

研究開発本部 機械研究所へ着任し、解析技術を活用したプラスチック成形機の開発業務に従事

2007年 10月 機械事業部 樹脂加工機械部 主事

2012年 1月 研究開発本部 広島研究所 主任研究員

2012年 4月 研究開発本部 広島研究所 主幹研究員
(現在に至る)

【学位】

2001年 3月 博士(工学)取得 (九州工業大学)

* 株式会社日本製鋼所 *

【創立】 1907年(明治40年)11月1日

【資本金】 196億9,423万円

【売上高】 連結:2,233億円 (2016年3月期)

【経常利益】 連結:141億円 (同上)

【従業員数】 連結:5,224名 (同上)

単体:2,294名 (同上)

【事業内容】 鉄鋼製品(鋳鍛鋼品、鋼板、溶接構造物等)、
機械製品、防衛機器、環境関連システム・機器、地域開発事業、
情報システム開発等

【事業所】 本社／東京(大崎)

製作所／広島、室蘭、横浜

研究所／広島、室蘭、横浜

海外21拠点